

九大広報

KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

Vol.
127
2023 Jul.



九州大学広報課

TEL:092-802-2130 E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学学生後援会

TEL:092-802-5968 E-mail:gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学同窓会連合会

TEL:092-802-2158 E-mail:sycdo-rengo@jimu.kyushu-u.ac.jp

住所変更ほか、発送についてのお問い合わせは、封筒記載の連絡先へお願いします。

特集1 データ駆動イノベーション推進本部
今、「データ」が面白い！
データが多様な知を結びつけ「総合知」を創出

特集2
異文化の窓 初修外国語を学ぼう

〔COVER/躍動〕九州大学ラグビー部



総長の
学生時代



教室の外でみつけたもの

時

は1960年代後半。日本各地の大学で、学生運動が広がっていました。例に漏れず九州大学でも。総長が九大に入学したのは、ちょうどその頃です。学生がストライキを起し、教室はロックアウト。「だからね、部活ばかりやってたよ。今じゃ考えられないけど授業がないから」。朝から晩まで高校から続けていた卓球に打ち込むとは、想像もしていなかったでしょう。その練習量は、大学1年間で高校3年分！キャプテンも任せられ、仲間たちと勝ち取った団体戦全国2位。「勉強はずっと低空飛行だったね」と笑います。でも、しっかり医師の道へ進んでいるところはさすが。深い体験、そして代えがたい友。時代からもらった自由を味方につけて、教室だけでは得られないものまで手にした総長。好きな言葉は、「和」だと教えてくれました。経験した全てが和となつて、今に生きているからこそその言葉です。最後にこう語ります。「学びもだけど、遊びも大事。いろんなことをしたほうがいいよね」と。



石橋達朗

2023.4.24

みんなでつくる九大広報

九大広報のご感想をお寄せください！

より良い広報活動を目指して、皆さんからのご感想を募集します。「このコーナーが面白かった」「こんな話題を取り上げてほしい」などの声をお聞かせください。

アンケートはこちら！



九大広報
KYUSHU UNIVERSITY CAMPUS MAGAZINE

■編集・発行：九州大学広報課 〒819-0395福岡市西区元岡744
■TEL:092-802-2130 FAX:092-802-2139
■E-mail:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp
■Webサイト:https://www.kyushu-u.ac.jp/

■印刷：凸版印刷株式会社
■編集協力・取材：中岡由希子、永井直美、水島理恵
■撮影：凸版印刷株式会社
■デザイン：株式会社イングラ HIQU DESIGN

◎本誌記事を転載する場合は、事前に九州大学広報課までご連絡願います。
◎「九大広報」は九州大学Webサイトでもお読みいただくことができます。

CONTENTS

[表紙撮影協力：九州大学ラグビー部]

- 01 [巻頭コラム] 総長の「学生時代」
- 03 [特集1] データ駆動イノベーション推進本部
今、「データ」が面白い！
データが多様な知を結びつけ「総合知」を創出
- 07 [特集2] 異文化の窓 初修外国語を学ぼう
- 09 [躍動] 九州大学ラグビー部
- 11 世界から九大へ 九大から世界へ
- 13 現役九大生 >>> 卒業生インタビュー
- 15 クローズアップ九大 世界基準の研究者マインドを育む
- 18 [Museum Report] 箱崎だより
「九州大学オール・アンモナイトプロジェクト」
- 19 Connect with Alumni
- 21 九州大学基金

※記者会見レポート、KYUDAI TOPICSは掲載を終了させていただきました。

今、「データ」が面白い！ データが多様な知を結びつけ「総合知」を創出

「総合知」サイト



九州大学は、目指す姿として「総合知で社会変革を牽引する大学」を掲げています。その実現に向けた柱の1つがデータ駆動イノベーション推進本部(以下、DX推進本部)です。近年、データ活用の重要性が高まる中、同本部はデータに基づいて大学の多様

な知を結びつけ「総合知」を実現する仕組みを構築し、新たなデジタル社会のあるべき姿を提案することを目標としています。今年2つの部門を設置し、活動を加速させるDX推進本部の谷口副本部長と内田本部長補佐にお話を伺いました。

分析した結果なのです。数学が苦手という人も、あまり身構えず、まずは日常生活にデータ分析があふれていることを知り、そしてその分析の背後にある数学的な原理に目を向けてみるというと思います。データがどのように処理されているのかを知るのには大切なことですし、面白いと思いますよ。

— ありがとうございます。同本部は「データ駆動型の教育・研究・医療を推進されています」「データ駆動」という言葉はあまり聞き慣れませんが、どのような意味でしょうか。

谷口 多種多様なデータを広く収集して、分析・活用することで、意思決定や課題解決に積極的に活かしていくという意味です。当本部は、業務の効率化といった狭義の意味でのデジタル変革ではなく、データを活用することで大学の多様な知を結びつけ、「総合知」を実現する仕組みの構築を目指しています。ですから、略称「DX推進本部」の「D」にはデジタルに加えて「データ」という意味合いも込められているのです。

— 近年特に「データ」が重要視されているのはなぜでしょうか。

内田 データという客観的な指標を元に学術的な主張をすることが、一般化してきたことにあると思います。論文を発表するときも、論文とデータをセットにして提出しなければ認められないことも増えてきました。また、分析する素材も多様化しています。データと言えば、エクセルの表などで使用する数値をイメージされるかもしれませんが、会話などの言語情報や画像も含まれます。さらに扱うデータの拡大に

これからの時代、
データサイエンスの知識は必修

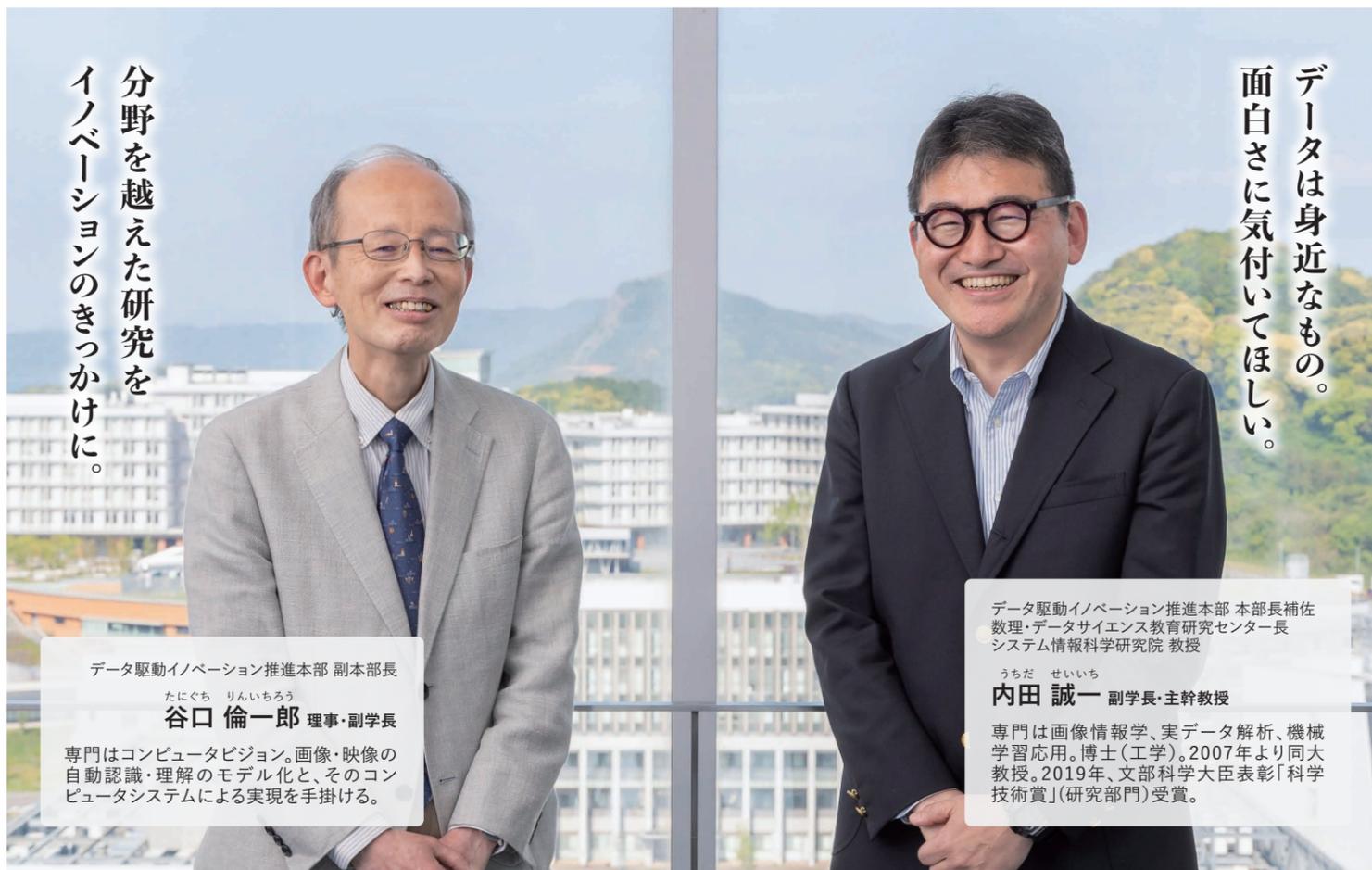
— DX推進本部の設立から1年経ちました。今年新しい部門も設置されたそうですね。

谷口 はい。4月に医療分野の司令塔としての役割を担う「健康医療DX推進部門」を、5月に当本部を業務面から支える「業務DX推進部門」を設置しました。いずれも、実質的な活動に向けて準備を進めています。

— 今後の活動が楽しみです。ところで、昨年度から高校でも「情報I」が必修化され、データを活用するスキルが求められています。数

高校生の皆さんにアドバイスをお願いします。
内田 どの分野においても、何らかの形でデータを活用するのが当たり前になっていきます。これからは、データサイエンスの知識は必修です。データサイエンスやデータ分析というと、難しいイメージを持つかもしれませんが、実は皆さん、既に使っているんですよ。例えば、スマートフォンで過去に撮影した写真が、思い出の写真として自動表示された経験はありませんか？これは、スマートフォンが写真をデータとして分析して、一定の条件の下で選んだものを表示しているのです。また、皆さん自身が「きつ」とこのメニューはおいしいに違いない」と推測するのも、皆さんの過去の経験をデータとして

データは身近なもの。
面白さに気付いてほしい。



データ駆動イノベーション推進本部 本部長補佐
数理・データサイエンス教育研究センター長
システム情報科学研究院 教授

うちだ せいいち
内田 誠一 副学長・主幹教授

専門は画像情報学、実データ解析、機械学習応用。博士(工学)。2007年より同大教授。2019年、文部科学大臣表彰「科学技術賞」(研究部門)受賞。

分野を越えた研究を
イノベーションのきっかけに。

データ駆動イノベーション推進本部 副本部長
たにくち りんいちろう
谷口 倫一郎 理事・副学長

専門はコンピュータビジョン。画像・映像の自動認識・理解のモデル化と、そのコンピュータシステムによる実現を手掛ける。

— データは異分野をつなげる共通言語

— 九大が「総合知で社会変革を牽引する」大学を目指す上で、「データ」はどのような役割を果たすと思われますか。

内田 各々の研究対象には、例えば古文書やレントゲン写真などさまざまなものがありますが、これらを数値化できれば共通の分析手法が使えます。このように「データは異分野をつなげる共通言語で、お互いの専門領

域を理解する上で重要な役割を担います。谷口 そうですね。専門分野のししか扱えなかったデータを、共通のツールを使って共有できるのは「総合知」につながる利点の一つだと思います。また、これまで経験や勘に頼っていた部分を、データに基づいて判断できるようになりました。例えば、本学で言えば「デザイン」。人がなんとなく直感で判断していたことを、データにすることで客観的な評価ができます。それを使って新しいデザインを探究すれば、これまでとは違った表現を見せることができるのです。データ駆動による新たな価値の創出が期待できます。

運営・企画部門
学内におけるDX実行を担う部門間、および学内各組織との調整・協力を効率的に進め、DXの展開が円滑に進むようにアレンジします。

デジタル社会創造研究部門
学内外の関連組織と連携し、未来社会でのDXのあるべき姿を研究し、社会課題解決のためのDX戦略のロードマップを提示することにより、DX研究開発に貢献します。

ラーニングアナリティクス部門
学習者の学習行動ログの解析をベースに、学生の理解度の把握や教授法の改善に資する情報の抽出・可視化に関する研究を進め、本学の教育水準の更なる向上に貢献します。

次世代型オープンエデュケーション推進部門
最新ICT(特にVirtual RealityやHuman Computer Interaction、5G等通信技術)を活用して、臨場感の高い次世代型デジタル教材と教育手法の開発を進めます。

研究データ管理支援部門
研究データの保存・共有・公開のためのインフラを整備するとともに、研究データ管理に係る人的支援を行います。また、日本の状況に適した研究データ管理や支援法を研究・開発します。

健康医療DX推進部門(2023年4月設置)
データ駆動型臨床研究基盤の整備と維持、次世代型健康医療データ管理コンプライアンス研究など、健康医療分野におけるデジタルトランスフォーメーションを推進します。

データ分析支援部門
データ駆動型教育・研究・医療を加速するためのデータ分析支援、データ分析に資するソフトウェアの利用支援などを進めます。
※2024年度以降に設置予定

業務DX推進部門(2023年5月設置)
法人全体の業務フローなどの見直しを踏まえ、データの最大活用とクラウドシステムに合わせた業務プロセスの効率化・標準化を行う「業務DX推進プロジェクト」を推進します。

DDIn² データ駆動イノベーション推進本部
Data-Driven Innovation Institute

学内外においてデータ駆動型の教育・研究・医療の展開を推進し、さまざまなデータの連携・統合およびデータの新たな利用法・価値を創出するとともに、社会的課題の解決に向け、DXによる新たな社会モデルの実現に向けた研究を推進し、新たなデジタル社会のあるべき姿を提案することで社会変革に貢献します。

WEBサイト

ARRIVAL MESSAGE

令和5年1月1日付けでDX推進本部の専任教員として着任されたお二人に、今後の展望などをお聞きしました。

「当部の教育・研究・医療におけるDXの取り組みを具体的にお聞かせいただけますか。」

谷口 はい、まず教育については、「教育データに基づく「教育・学習支援」と「教育・学習支援」からお話ししますと、もともと九大は全国の大学に先駆けてデジタル学習環境を構築し、オンライン授業においても先進的な研究を行ってきました。例えば、学生の皆さんがどれだけ授業を理解しているかは、これまでは教員の経験知に基づいて判断していましたが、今では学習の状況をさまざまな観点からデータ化し、総合的に分析することによって客観的な数値データで評価しています。その他、最新ICTを活用した臨場感のある次世代型デジタル教材の開発にも取り組んでいます(図1参照)。

「データサイエンスの視点においてはいかがですか。」



図1:日本史学・宮中儀礼に関する対話型電子教材
宮中の儀式の様子を紙の媒体だけで学習するのではなく3次元CGアニメーションや3Dプリンターを使用した建物のモデルを見ながら学習する教材を開発

「データサイエンス教育研究センター」では、学部学科を問わず、学部1年生から大学院生、教員にいたるまで、全ての人がデータサイエンスについて学ぶ機会を提供しています。内容は、数学の基本的なところから統計学、画像処理、AI関連、プログラミングなど多岐にわたります。大学院に進学してデータ分析のスキルが必要になった文系の学生が、学び直しの意味で受講したり、アンテナ感覚の高い新入生が入学してすぐに受講したり、受講生もさまざまです。単位目的ではなく、データサイエンスの必然性を感じて受講している人が多いので、常に門戸を開いておき、誰でも学びたいときに受講できるようなイベントも開催しており、理系・文系の枠を越え、データという共通言語を持つ人たちが発表し合う場合は、発見も多く面白いのです。



「異分野の共同研究も活発に。データは世界の垣根を越える。」

「研究におけるDXの取り組みは。」

谷口 研究の公正性、研究が正しく行われたことを証明するためには、研究データをきちんと管理し、誰でも使えるようにしておくことが重要です。また、研究データを公開することで、他の研究を活性化させたり、今まで知らなかった研究者とコラボレーションしたり、新しい展開が生まれる可能性もあります。しかし、忙しい研究者がきちんと研究データを管理するのは大変でした。そこで、研究データ管理支援部門を設置しました。今後は、研究者や教員の皆さんが簡単にデータ管理できるようサポートしていく予定です。

内田 私は画像情報学が専門なので、異分野の方とのコラボレーションを積極的に進めています。例えば、生物の研究者との共同研



究では、細胞の動きなどを画像データ化し、論文制作にも携わらせていただいています。知らない世界を知れるのは大変幸せなことですし、世界が広がります。

谷口 当本部ができたことで、九大全体で分野を越えたコラボレーションが進めやすくなります。結果として、イノベーションを起こすきっかけになることを期待しています。

「医療」における取り組みは。」

谷口 医療の世界では当初、病態情報という、血圧などの検査した数値を見て治療していましたが、その後、遺伝子情報という新しいデータが加わり、医療の新しい姿を見せてきました。私たちはこれに加えて、環境データを使うように考えています。患者さんがどのような生活を送っているのか、どんな行動をしているのかといった情報を活用することで、より良い医療を提供できればと考えています。

「最後に在学生や九大の進学を考えている高校生の皆さんにメッセージをお願いします。」

谷口 データの重要性をしっかりと意識して、どのように利用するか、本学でしっかりと学んでほしいと思います。

内田 「データは面白い」と思ってもらいたいですね。データは本当に身近なもので、天才だけしか扱えないものではありません。興味が湧いたら、その背後に潜む数学について学んでみると面白さに気付くと思いますよ。

谷口 データは、日本だけでなく世界に通じる共通言語です。グローバル化の進む中で、障壁も越えられます。「総合知」を育む環境を整う本学で可能性を広げてください。

この取材は2023年4月27日、本学伊都キャンパスウエスト1号館10階情報学習ラザで行いました。

九大発！研究データ管理を支援する人材育成「履修証明プログラム」を創設



データ駆動イノベーション推進本部 研究データ管理支援(RDS)部門 石田 栄美 教授

研究データ管理の基盤を提供。支援人材の育成にも着手

私が所属する「研究データ管理支援部門」は、研究データの保存・共有・公開のための情報基盤を提供するとともに、研究データ管理にかかる人的支援、具体的に言えば、データ管理計画の作成支援、研究データ管理に関する助言、研究データ公開の支援、若手研究者や学生へのリテラシー教育などを行います。

また現在、これらの支援を行う人材が不足していることから、本学の「統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻」と協力して、全国の大学に先駆けて人材育成のための「履修証明プログラム」を創設し

ました。社会人を対象とし、学内にとどまらず、全国の大学の図書館職員や研究支援に携わる部署の職員、URA(リサーチ・アドミニストレーター)などを考えています。2日間は本学でみっちり学んでいただきますが、基本はオンラインでの受講を考えています。研究データの管理を支援する組織は各大学にあります。人材育成をする場まで持つ大学は九州大学だけです。九大発の試みが、全国に広がることを期待しています。

情報の管理と提供について学べるのは九大だからこそ

もちろん、九大の学生の皆さんにも、情報を適切に管理することや、情報を共有・公開した場合に与える影響、または自分の作ったデータや情報に責任を持つとはどういうことなのかをしっかりと学んでもらいます。私が担当しているライブラリーサイエンス専攻は、複数の専門領域から教員が集まっているため、情報の管理と提供について学際的に学ぶことができます。このような専攻を成立させることができるのも、総合大学である九大だからこそ。一つの専門領域を深く学ぶことも重要ですが、多くの専門領域を知ること、物事を多様な観点でとらえることができるようになります。

自分の学びたいことや身につけたいことを、さまざまな選択肢から選べるのが、九州大学の魅力の一つです。ぜひ、本学に入学した暁には、ちょっと欲張りになっていろいろなことを学んでほしいと思います。

さまざまな人と交流し、オンライン授業をより良く

コロナ禍で見えたオンライン授業の課題を改善し、より良い形に

私が所属する「次世代型オープンエデュケーション推進部門」の先端オンラインエデュケーションユニットは、最先端のICT技術(5G通信やAR/VRなど)を活用した次世代型のオンライン授業システムの研究開発と授業支援を目的としたユニットです。コロナ禍で、オンライン授業が推進され、遠隔講義やオンデマンド講義などのメリット・デメリットが具体的に目に見えてきました。それを受けて、今後はより良い講義形態や授業を実現する研究開発に携わることになります。

今後は直接会って現場のニーズをより具体化していきたい

程度の差はありますが、データやそれに基づくAIなどの利活用には、それに関わるスキルが切り離せないものになっています。しかし、この分野の技術は、専門家ですら追いつくことが難しいスピードで変化しており、その最先端のスキルを補える環境にあるのはありがたいと思っています。

また、当本部に着任する前は、ラーニングアナリティクス(LA)に関する研究に従

事し、座学を中心とした学習者の行動分析に携わっていました。私の場合、サイズ(材料)はあるのですが、現場の方のニーズを具体化するのに苦労していました。しかし今後は、農学や医療系の方々に直接お話を聞ける機会が増えると思うので、今から楽しみにしています。さらに、私と同じ次世代型オープンエデュケーション推進部門に所属する研究者の皆さんは、教材・コンテンツ開発など、内容が多岐にわたっていますので、「行動分析×コンテンツ開発」など、皆さんとの交流を通じて研究の幅・知見を広げ、DX推進本部の活動に貢献できればと考えています。

九州大学で学ぶメリットはたくさんあります。中でも「何のために学ぶのか」というところを意識した教育が九大の一つの特長です。この数学は何に使うのかなど、ゴールを意識した授業が行われています。ぜひ、九大でアクティブな学びを体験してください。



データ駆動イノベーション推進本部 運営・企画部門/次世代型オープンエデュケーション推進(NOE)部門 峰松 翼 准教授

『特定の地域の音楽について研究するのならば、「言語」が出発点にして不可欠』

「特定の地域の音楽や文化・社会・政治について研究するのならば、言語について知ることが出発点にして不可欠」と語るのは西田絃子先生。大学で音楽学を専攻された先生は、卒業論文で特定の地域の音楽文化について研究することを見越し、入学前からドイツ語に定め、学習に励んでい

たそうです。当時の学習法は、文章をすべて書き写し、主語と動詞にマーカーで別々の色を塗るといふもので、これにより、文法構造が視覚的に明確に理解できたとのこと。その他、語学学校に通ったり、ドイツ人学生とタンデム学習を行ったり映画を繰り返し観たりと、日常的にドイツ語に触れていたそうです。

また、短期留学先として偶然決めた旧東ドイツのドレスデンでの日々が、西田先生の人生を大きく変えました。滞在するなかで出会った人や歴史に衝撃を受けたことが原動力となり、卒業論文の方向性も定まり、今に至るそうです。



芸術工学研究院 言語設計部門 にしだ ひろこ
西田 絃子先生

「語学に限らず、大学ではさまざまなことが学べます。強い疑問や関心を抱かせたり、その後のキャリアパスの決定打になったりする強烈な実体験が皆さんにあることを祈っていますし、その一助になりたいです」と締めくくります。

研究対象である音楽において、楽譜冒頭の説明文などもドイツ語で書かれていることが多いため、ドイツ語の知識が必須。



特集2

異文化の窓 初修外国語を学ぼう

『近代思想や自然科学を学ぶのにドイツ語は欠かせない』

言語文化研究院 国際文化共生学部門 ふくもと けいた
福元 圭太先生

「近代思想や自然科学を学ぶのにドイツ語は欠かせない」と語るのは福元圭太先生。中高生の頃からドイツ文学やクラシック音楽に魅了され、外国語大学でドイツ語を修められました。マルクス、ニーチェ、フロイト、またレントゲンやアインシュタインなど、多くの重要な学者がドイツ語で考え、ドイツ語で書きました。彼らを深く理解するにはドイツ語が必須と仰います。

ドイツ語の授業で教壇に立つ際は、「基礎をわかりやすく、授業が終わる頃には独学で学べるレベル」まで学生を引き上げる

独和辞典の編纂に携わって30年以上。「学生がどこでつまづいたのか分かっていない人間が作っているのが親切な辞書です」と語ります。



ことを目指しているそう。おすすめの学習法は、毎日少しずつドイツ語に触れること、音読し、自分の発音を聞きつつ手を動かして覚えること。毎日勉強していると、「あ、わかる!」という瞬間が来るとのこと。

大学で新しい外国語を学ぶ学生へ。「言語は単なるツールではなく教養です。教養とは『他者理解の能力』です。そのためには日本語や英語だけでは足りず、『第三の言語』を勉強することが重要です。自分の専攻ではどの言語が必要になるのか、自分自身で考えて選択するとより良いと思います」と福元先生はメッセージを送ります。

Danke schön!



九大生が必ず履修する初修外国語。今回はドイツ語と中国語をクローズアップし、授業を担当している先生と、その言語を使って研究活動を行っている先生や学生を取材しました。

ワタシたちが取材しました!

- 陣内 未来(人間環境学府 修士2年) 村上 昂太郎(共創学部 3年)
- 疋田 弥紅(芸術工学府 修士2年) 熊谷 有希也(経済学部 3年)

1年後期に受講した中国語実践の授業で、上海文化について学ぶことができ、台湾だけでなく上海にも興味を持ったそう。



授業では「普通話」という、日本で言う共通語のようなものを学びます。しかし、「同じ普通話でも、台湾出身の先生と上海出身の先生では発音が全然違う」と、西さんは驚いたとのこと。発音の難しさを実感しながらも、CLP・Cという台湾への短期語学研修にも挑戦。台湾では漢字表記や発音が中国本土とはかなり違い、「現地では発音が全然伝わらないなど、さらに難しさ

がありました」と言う一方、「現地の人と交流し文化を感じることは貴重な経験となり、挑戦して良かったと思っています」と話していました。2年からは本格的に中国法の勉強を始めるそう。国際コースに所属する西さんは英語に触れる機会が多いですが、さらに中国語を学んでいることが自分の強みになると語ってくれました。地理的に中国と近い九大では中国語を活かせる機会も多く、「専攻の勉強における選択肢が広がるかも。継続が大事ですが、ぜひ挑戦してみよう」と、西さんは中国語選択者にエールを送ります。

你好!

高校生の時に台湾のオーディリー・タン(唐鳳)



法学部2年にし さつき
西 咲希さん

中国語を学んでいることが自分の強みに

日本人が中国を理解する意義は非常に大きい

基幹教育言語文化科目の一環として、初修外国語を学ぶことは、「言語の発想法や背景にある文化を理解し、思考の幅広さを涵養すること」が目的。その上で、文化・思想・文字を共有することが多い日本と中国は切っても切り離せない関係性であり、その影響力の大きさから、日本人にとって中国を理解することは意義あることだと朱先生は指摘します。そのために中国語を学ぶことは必要不可欠とのこと。

九大新入生の約4割が中国語を選択しており、中国に対する関心の高さも窺えます。印欧語と比べ漢字を用いる点や語形変化がないことを踏まれば学びやすい一方で、発音が細かい点や、文法ルールが日本語との差異が大きい点など、真剣に取り組む必要があるそう。

「新しい言語を学ぶことによって新しい世界が広がります。母語の自然習得と違い、言語運用には総合的な能力が必要となりますが、新たな世界が広がる感覚をぜひ味わってください」と語ってくださいました。

謝



日本にとって影響力が大きく、切っても切り離せない中国。関連する書籍も多く、社会における注目度も高いことが分かります。

言語文化研究院 言語環境学部門 しゅ ひょう
朱 冰先生

大学時代の短期留学が、卒業後の日本留学につながりました。



躍動

仲間と共に
ボールを、伝統を
繋ぐ

九州大学ラグビー部

学生スタッフが取材・執筆を担当する企画「躍動」。タイトルは取材に協力した各団体の代表者が書いています。個性あふれる手書き文字に、団体活動への熱意を感じます。



2019年ワールドカップで史上初の8強入りを果たした日本ラグビー。日本中に熱狂をもたらしました。そんなラグビーに打ち込む九大生がいます。長きにわたってボールと伝統を繋ぎ、2025年に創設100周年の節目を迎える九州大学ラグビー部の活動に迫ります。

—ラグビー部に入部したきっかけは？
阪本 高校でラグビーを始めて、高校生活でラグビーをやり尽くしたという思いから、大学ではラグビーをやることは考えていませんでした。しかし、大学生活の中で「何かやりたいな」「縦の繋がりを感じたいな」と思い、試しにラグビー部の練習にちょっと参加してみたいです。やってみたら、部の雰囲気や隔たりのない上下関係が自分にあって、とても楽しくて、ラグビーを楽しめる間は続けようという現況に至っています。

—ラグビー部の主な活動を教えてください。

阪本 基本的に1日2時間の練習を週4日、火、水、金、土曜日、練習後にミーティングなどをすることもあります。

—今年からの試みで、部員を戦術班、広報班、企画班、データ班の4つに分けて試合戦術の考案や高校生に向けた広報活動、部内でのイベント、試合や練習の記録・分析などを、各班とキャプテンの自分やリーダーで行っています。

—年間行事について教えてください。
阪本 年に大きな試合が3つ、7月の東京大学との定期戦、9月から11月に

かけての九州学生ラグビーリーグ、12月の京都大学との定期戦があります。あとは、海でのバーベキューや春の花見などイベントですね。大学の部活で、モチベーションも人それぞれなんです。親睦を深めることが重要なことと思っています。

—九州大学ラグビー部の強みを教えてください。

阪本 自分たちの強みは学生主体で運営していることだと思います。外部コーチもいらつしゃって、指導やアドバイスをしていただきますが、基本的には自分たちでスケジュール管理や練習メニューの考案、試合の分析など全てを行っています。学生の意識や実践が直に結果に出してしまうという意味では難しさもありますが、意見を出しやすいし、それが反映されるとモチベーションも上がりますから。他のチームにはない自分たちの強みかなと思います。

—ラグビーにハードルを感じる方もいらつしゃると思いますが…

阪本 確かに、自分自身もかなり勇気が必要だったので、大学から始めるのは勇気がいると思いますが、大学からラグビーを始めた部員もいます

—高校生に向けてメッセージをお願いします。
阪本 大学に入学して、さまざまな選択肢があると思いますが、自分が楽しいと思う部活やサークル活動に積極的にチャレンジしてほしいです。チャレンジする勇気が大事だと思います。ラグビー部の練習にも立ち寄ってもらって、ラグビーの楽しさに触れてみてください。

—高校生活に向けてメッセージをお願いします。

阪本 大学に入学して、さまざまな選択肢があると思いますが、自分が楽しいと思う部活やサークル活動に積極的にチャレンジしてほしいです。チャレンジする勇気が大事だと思います。ラグビー部の練習にも立ち寄ってもらって、ラグビーの楽しさに触れてみてください。

—今年度の目標をお願いします。
阪本 東京大学ラグビー部との定期戦で勝つこと、九州学生ラグビーリーグの順位決定戦で上位に入賞して1

—新入部員はプレイヤーもマネージャーも1年中いつでも大歓迎です！



▲HPはこちら

Data

- ◎ 部員：プレイヤー23名、マネージャー7名
- ◎ メンバー：学部4年：プレイヤー7名 マネージャー1名、3年：プレイヤー8名 マネージャー2名、2年：プレイヤー8名 マネージャー4名
- ◎ 活動場所：九州大学総合グラウンド
- ◎ 活動日：1週間に4日(火、水、金、土) 1日あたり2時間～3時間
- ◎ 問い合わせ先：HP: <https://kyushu-u-rfc.jimdofree.com/> Twitter: <https://twitter.com/kurfc1925> Instagram: https://www.instagram.com/kurfc_mg/

取材協力

キャプテン さかもと たくむ (工学部4年) 阪本 拓武さん

この記事は広報課学生スタッフが制作しました。

目黒 智将 (芸術工学部4年) 永田 あい (経済学部4年) 窪田 瑛仁 (理学部2年)



留学生体験記

アフリカ南部に位置するジンバブエ共和国。そこから遠く離れた九州大学のキャンパスへやって来た留学生をご紹介します。



CHIKWANHA TAKUDZWAさん (チクワンナ タクズワ)

人間環境学府 空間システム専攻 空間システムコース
博士後期課程1年



出身国:
ジンバブエ共和国

イギリスのプリマス大学でサステナブル建築を学んだ後、母国のジンバブエで就職。もっと知識と経験を深めようと再び学びの場へ。

MY FAVORITE!



大学のメンバーと訪れたタイにて。建築のワークショップを通じてさらに友情が深まった。



建築の勉強では体力も必要。メンバーと力を合わせての作業奮闘中。

Q 日本へ留学する前はどんなことを?

イギリスのプリマス大学でサステナブル建築を学びました。設計の段階から環境シミュレーションを重視する建築です。資材を慎重に選び、持続可能な設計が、メンテナンスのコストを抑えられるか。環境だけでなく、社会的にも経済的にもいろんな観点から考えます。大学卒業後は母国のジンバブエで就職しましたが、まだ勉強が足りないと感じて日本へ来ました。

Q 留学先に九州大学を選んだ理由は?

末廣香織教授がいたからです。イギリスの大学時代、先生が牽引している「KASEIプロジェクト」を知りました。自然災害の被災地で、仮設住宅の環境改善や支援活動をするプロジェクトです。すごく興味を惹かれて、自ら先生に連絡を取りました。日本の他の大学も考えましたが、末廣先生の下で学びたい思いが強かったですね。

Q 研究室の雰囲気は?

研究室のメンバーは、お互い助け合うし家族のようです。末廣先生の人柄のおかげだと思います。先生はフレンドリーで、とてもユーモアがあるんです。広い知見と経験もあって、惜しめないアドバイスをしてくださるので、学生の高い研究意欲が保たれているのでしょう。勉強しようと思わせてくれる先生です。

Q 力を入れている研究は?

「KASEIプロジェクト」を、サイクロン被害が深刻なジンバブエに適用できないか友人と計画を進めているところです。昨年現地フィールドテストや取材をして、シェルターのデザインまで進みました。でも、一人で一度に多くのことをやろうとすると上手くいかなくて。今年は仲間もいるし、資金面もクリアできたので実現できそうです!

Q 休日はどのように過ごしてる?

バスケットボールと写真が趣味です。バスケット歴は17年!研究室の外で過ごすほとん

どの時間は、カメラかボールを手にしていますね。旅行も好きです。広島に行って最新デザインのリボンチャペルを見た時は、改めて建築が好きになりました。

Q これからの目標を教えてください。

日本で被災された方たちと触れ合うことで、私の関心もサステナブル建築から復興に役立つ建築へと変化しました。被災者へのシェルターの提供にはさまざまなアプローチがありますが、経済的に困難な国でも採用できる標準化されたシステムを設計できたらと思っています。



研究室は国籍を問わず個性豊かなメンバーが在籍。仲間とさまざまな意見を出し合い、刺激をもらっています。

世界から九大へ 九大から世界へ

KYUDAI GLOBAL STUDENTS

世界のキャンパス

コロナ禍の中、海外留学を体験した九大学生に、留学先でどんなことを学び、どんな暮らしをしていたのか語ってもらいました。

月岡 葵さん (つきおか あおい) 経済学府修士1年



留学国:シンガポール
留学先:シンガポール国立大学
期間:2022年8月~12月

シンガポール留学の醍醐味です。休日は街をよく散策しました。シンガポールにはマーライオンが有名な中心部の他、アラブストリートやリトルインドなど、特定の文化色が濃い地域もあり、地域ごとに個性的な食や街並みを楽しめました。
-留学経験をどのように活かしていきたいか?
「フラットな見方で色々な人・物に接していきたい」と思います。多文化が共存するシンガポールで感じたのは、全ての人に共有される「普通」は無いことです。だからこそお互いの「違い」を理解し尊重することが大切だと思います。

ました。物事を尊重しながら学び、関わる人々の多様性を理解する姿勢を意識していきたいです。
-留学を考えている人へメッセージ!
「在学中に留学する!」という心持ちで過ごしてみましょう。海外を視野に入れて行動することで、私たちは成長します。成長を最大限に感じたいならば、渡航が最適解の一つです。現地地で得る生の経験・感覚は必ず考え方・進路に影響を与えてくれます。

多様な価値観を学べたことがシンガポール留学での収穫

「多文化共生社会」を学び・体感したかったので、交換留学をしました。私は2022年の8月から一学期間、シンガポール国立大学で社会学を学びました。多文化共生社会を授業で学び、さらに日常生活で体感できたので、留学して良かったです。
-休日の過ごし方・留学して良かったことは?
多地域の文化を一国内で体感できるのが、



NUSに特徴的な「チュートリアル」では、座学でインプットした知識を議論・発表でアウトプットし効率的に学べます。

留学生のごはん事情

学食でのランチは5~7SGD(¥500~700)前後でした。マレーシアの料理「ナン・レマ」はさまざまな味・食感がワンプレートで味わえるお気に入りの一品です!ココナッツ風味のライスがクセになる美味しさです。



シンガポールの豊かな自然や多様な街並みを友達と楽しむ、アクティブな休日が多かったです!シンガポールの観光名所をランニング!治安が良いので夜まで楽しめます。



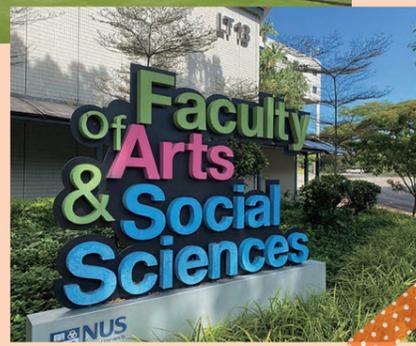
北部の雄大な湿地でウォーキング。野生のオオカゲやワニが見られます。

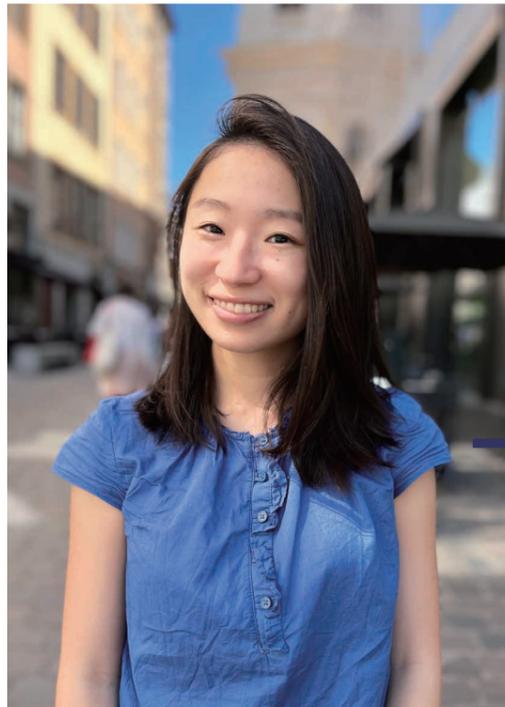
留学情報はこちら!
<https://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study>



シンガポール国立大学

シンガポール国立大学(NUS)は、シンガポールを代表する大学として、またアジアで優れた大学として、アジアの視点と専門性に重点を置きながら、教育、研究、起業にグローバルなアプローチを行っています。Times Higher Education World University Rankings 2023では総合19位、アジア3位にランクインしました。シンガポールのセントリッジ、ブキティマ、アウトラムの3つのキャンパスに17の学部があり、学部を越えた充実したカリキュラムを提供しています。世界100カ国から集まった4万人近い学生が、活気に満ちた多様なキャンパスコミュニティを豊かにしています。





世界口腔保健レポート発刊に際してWHO本部にて

歯学部歯学科 2017年卒業
世界保健機関
(WHO: World Health Organization)
本部・口腔保健部門テクニカルオフィサー

原田 有理子
はら だ ゆり こ

無我夢中で過ごし、
自身で切り拓いた
国際口腔保健への道

自分が楽しめる
環境を、自分で
つくることが大事

2年生の時に九大の留学プログラムで訪れたケンブリッジ大学にて現地の学生と



共創学部 2022年卒業
福岡銀行
近藤 可奈子
こん どう か な こ

原田 きっと多くの人がそうだと思います。他学部比べて海外留学する人も少なかつたので、九州大学のうちに他学部の人や留学生との接点を持つ環境はとてもありがたかったです。他にも自分で調べて、WHOの歯科部門で働いている日本人の方を訪ねたり、卒業後は口腔保健の分野に強いイギリスの大学院に進んだり、夢に向かつて突き進みました(笑)。

— 歯学部というと、歯科医師というイメージが強かったです！
原田 きっと多くの人がそうだと思います。他学部比べて海外留学する人も少なかつたので、九州大学のうちに他学部の人や留学生との接点を持つ環境はとてもありがたかったです。他にも自分で調べて、WHOの歯科部門で働いている日本人の方を訪ねたり、卒業後は口腔保健の分野に強いイギリスの大学院に進んだり、夢に向かつて突き進みました(笑)。

— どのような大学時代を過ごされましたか？
原田 歯学部は進級に関わる試験も多いので、毎日勉強をがんばっていた記憶があります。あとはJTW*という九州大学の交換留学プログラムにおける留学生へのサポートなどを行っていた。約4年間つとめました。

— 大学入学以前から、海外に興味があったのですか？
原田 高校までは海外とは全く接点のない生活をしていましたが、大学3年時にJICAの主催するフィールドスタディプログラムでラオスに行く機会がありました。日本人は当たり前前に歯ブラシで歯を磨くという習慣がありますが、世界には木の枝で歯を磨いている人もいます。そんな現実を目の当たりにして、国際口腔保健の道を目指すようになりました。

— 歯学部というと、歯科医師というイメージが強かったです！
原田 きっと多くの人がそうだと思います。他学部比べて海外留学する人も少なかつたので、九州大学のうちに他学部の人や留学生との接点を持つ環境はとてもありがたかったです。他にも自分で調べて、WHOの歯科部門で働いている日本人の方を訪ねたり、卒業後は口腔保健の分野に強いイギリスの大学院に進んだり、夢に向かつて突き進みました(笑)。

— 現在の仕事について教えてください。
原田 現在は外務省の支援によりWHOの歯科部門に派遣という形で所属しています。2021年にWHO加盟国が口腔保健決議を14年ぶりに採択し、世界各国でさらなる口腔衛生の重要性が認知されました。それによってWHOで、『グローバルヘルスアクションプラン』というものを作成することになりました。簡単にいうと、SDGsの歯科版のようなものでしょうか。加盟国の歯科担当官や世界を牽引する研究者・実務者からの意見をまとめ、この指針に基づき加盟国が口腔保健推進を行うための技術支援をしています。

— 最終的な目標は？
原田 世界の人々が持っている病気のなかで、一番多いのが実は口腔疾患なんです。ただそれによって命に関わるケースは多くないと思うので、なかなか注目が向かない分野というのが現実。世界中の人にもっと関心を持ってもらい、最終的には歯科疾患の減少につながっていく。そのお手伝いができたらこんな嬉しいことはありません。

— 最後に、九州大学を目指す受験生や在校生にアドバイスをお願いします。
原田 九州大学には多くの学部があるので、いろんな学部の授業を履修できるところが魅力だと思います。がんばろうと思える環境があったから今の私があります。努力は必ず報われると思うので、皆さんもがんばってください。

— 共創学部で学んだことが生きていくと感ずることはありますか？
近藤 共創学部は、理系・文系といったはっきりした専門分野があるわけではないので、さまざまな価値観を持つ人が集まっています。自分とは違った考え方の人と話す機会が多かったのも、お客さまとお話しする中でも職場でも、いろんな価値観に当たりに対応できているのかなと感じることがありますね。

— どんな人に共創学部を勧めたいですか？
近藤 この先やりたいことが決まっている人はもちろんですが、迷いがある人こそお勧めしたいです。私自身、高校時代も大学に入ってから目標が全くと言っていいほど定まっていまらなかった。でもだからこそ、枠をつくらずに自分の本心と向き合えたのだと思います。少しでも興味があることがあれば後押ししてくれる存在が周りにたくさんいるので、いろんな分野を学びたい！という人には共創学部を全力でお勧めしたいです。毎日勉強していると視野が狭くなり、目の前のことだけに集中しがちですが、九州大学の在校生の皆さんもいろんなことに興味を持って、いろんな体験をしてください。

— 就職先に銀行を選んだ理由をお聞かせください。
近藤 地元で就職したいという気持ち大きかったからです。生まれも育ちも福岡で、この街が大好きなんです。銀行は、地域やそこに住む人と関わり合いながら仕事ができます。福岡銀行の本部には、地域開発に携わる部署もあります。現職より広い範囲で地域貢献ができるので、そういった仕事にも興味があります。人生100年時代と言われる今、長い時間の中で、どこにいても自分が楽しくがんばれる環境を自分でつくり続けることが大事。どこまで自分と仲良くできるか」ということを常に考えるようにしています。

— 共創学部で学んだことが生きていくと感ずることはありますか？
近藤 この先やりたいことが決まっている人はもちろんですが、迷いがある人こそお勧めしたいです。私自身、高校時代も大学に入ってから目標が全くと言っていいほど定まっていまらなかった。でもだからこそ、枠をつくらずに自分の本心と向き合えたのだと思います。少しでも興味があることがあれば後押ししてくれる存在が周りにたくさんいるので、いろんな分野を学びたい！という人には共創学部を全力でお勧めしたいです。毎日勉強していると視野が狭くなり、目の前のことだけに集中しがちですが、九州大学の在校生の皆さんもいろんなことに興味を持って、いろんな体験をしてください。

— 就職先に銀行を選んだ理由をお聞かせください。
近藤 地元で就職したいという気持ち大きかったからです。生まれも育ちも福岡で、この街が大好きなんです。銀行は、地域やそこに住む人と関わり合いながら仕事ができます。福岡銀行の本部には、地域開発に携わる部署もあります。現職より広い範囲で地域貢献ができるので、そういった仕事にも興味があります。人生100年時代と言われる今、長い時間の中で、どこにいても自分が楽しくがんばれる環境を自分でつくり続けることが大事。どこまで自分と仲良くできるか」ということを常に考えるようにしています。



大学3年時に参加したJICAフィールドスタディプログラムにてラオス訪問時に

歯学部というと歯科医師として病院で働くイメージが強い中、公衆衛生の分野を通じて世界で活躍される原田さんのお話を伺う貴重な経験を得ることができました。中でも自分のキャリアを積極的に築いていくお話に感銘を受けました。私自身も、臨床だけでなく、グローバルな視野を持ちさらに成長していきたいと思いました。

聞き手 | **あべ まり 阿部 真梨** 歯学部歯学科6年



ゼミのメンバー全員と卒業式で

今年で6期生を迎えることとなった共創学部ですが、その認知度・理解度は、学内外ともに未だ高いとは言えません。今回インタビューさせていただいた近藤さんのように、「共創学部ってどんな学部なの？共創学部で何をしたいの？」という疑問に胸を張って答えられるよう、同学部生として残り3年間、日々学びを深めていきたいと思っています。

聞き手 | **やまだ かずひこ 山田 和彦** 共創学部2年

※九州大学 Japan In Today's World

何も知らないところから丁寧に教えてもらい、研究の楽しさを知ることができました。



なかみ りつさ
中込 睦生さん
生物資源環境科学府修士2年

留学や課外活動を応援してくださるので、学生生活を最大限楽しめる環境があります。



えがしら さき
江頭 咲希さん
生物資源環境科学府修士1年



中村教授は、大学院修了後、米国の研究機関に5年間勤務され、2007年に本学の農学研究院に着任されました。SENTAN-Qは、キャリアを積んでからの挑戦、そこにはどんな思いがあったのでしょうか。「当時、これからのキャリアについて悩んでいました。大学院時代の同級生たちが教授に昇進する中、自分も機会があれば教授職にチャレンジすべきではないかと考えていたのです。そんなとき、SENTAN-Qの募集があり、背水の陣を敷いて応募しました」

研究も研究以外のことも「全てあきらめない、全てやり尽くす」

中村教授は、有精卵を用いて、ニワトリが体を形作る過程や仕組みを明らかにする研究を行っています。特に着目しているのが平滑筋と骨格筋の細胞です。

2021年に食肉生産につながるニワトリを実験モデルとした新たな研究テーマを立ち上げ、大学院生物資源環境科学府にて動物生命科学分野として研究室を発足しました。

また、農学研究院附属の国際農業教育・研究推進センターに所属し、学生の留学やインターシップをサポートしたり、国際共同研究への参加を推進したりしています。

中村研究室に所属する江頭咲希さんは、今年の8月から12月まで、米国のジョージア大学に交換留学に行く予定です。「留学先では、遺伝子解析の実験手法を学び、中村先生の共同研究者と家畜の肉質について研究します。全く異なるバックグラウンドを持った人たちとラボワークをするので、「コミュニケーションスキルも磨けると思います」

中村研究室の学生第一号として研究室を



農学研究院 附属国際農業教育・研究推進センター
なかむら まこ
中村 真子 教授
2007年九州大学大学院農学研究院講師、2013年同准教授、2022年より同教授。専門は筋肉科学、発生生物学、細胞生物学。

いつも笑顔が絶えない動物生命科学分野 中村研究室の皆さん

九大の高度な教育・研究環境で
総合知を創る
未来の研究者を育む

● 高校生の期待を裏切らない教育・研究を提供したい

文部科学省は、高校と大学の接点を増やし、それぞれの教育をひとつながりに捉える「高大接続」を進めています。九州大学でも、高校生が大学の授業や研究を体験できる「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（以下、QFC-SP）」を提供しています。九州大学の研究設備を活用した実験・実習を行い、研究室の一員となつてリサーチテーマを主体とする個別研究活動を行います。人気が高く、また優秀な高校生



米国勤務時代のホームパーティーで。中村教授の帰国後、同僚は皆九州を訪れ再会、現在も連絡を取り合っている

九州大学は、学術研究の将来を担う多様な優秀な研究者を育成するため、さまざまな取り組みを行っています。今回は、そうした取り組みに研究者として参加される一方で、次代の研究者の育成にも尽力されている農学研究院の中村真子教授に話を聞きました。

生が多いため、学生の選抜も一苦労。指導教員として活動されている農学研究院の中村真子教授は、「高校生は、大学に入れば面白いこと・楽しいことが待っていると信じて必死に勉強しています。その期待を裏切らない教育・研究を提供したい」といいます。

● キャリアプランに悩み、背水の陣で「SENTAN-Q」に応募

また、九大は「総合知」の創出に向けて、多様な人材を獲得・育成するため、キャリアの形成支援にも力を入れています。

世界の研究をリードする女性ならびに若手人材の発掘・育成を目的とした「ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修（以下、SENTAN-Q）」では、目標レベルに到達した研修生は、原則1年以内に1段階の内部昇格が施されます。中村教授はその一期生です。



SENTAN-Q 1期生のキックオフ（2020年1月15日）。久保前総長を囲んで前列に研修生、後列に関係者。久保前総長の左隣が中村教授

牽引してきた中込睦生さんは、今年9月に英国で開催される鳥類研究会での発表が決まっています。「コロナ禍の影響で、初めて経験する対面での学会が国際学会となり緊張しますが、しっかり準備をして、何か少しでも持ち帰りたいと思っています。新しい研究室で大変なこともあります。中村先生のもとで、丁寧かつスピード感を持って研究に取り組めるのがあります」といいます。

中村教授は学生に「全てあきらめない、全てやり尽くす」ように指導しています。「研究には全力で取り組んでもらいたいです。研究だけに集中すると上手くいかなくなるときに簡単に崩れてしまうかもしれません。部活やアルバイトなど、自分を支えるネットワークが他であれば、研究にたまらずにうまく乗り切れる。研究以外のことが上手ければ、自ずと研究への意欲も高まるものです。キャンパスの中でも外でも自分がやりたいことを追求してほしいと思っています」

団結力抜群の国際農業教育・研究推進センターの皆さん

PICK UP

高大接続改革

高校と大学の教育をより密接に連携させることで、多様な学力や能力を評価できる教育制度を目指す取り組み。これにより、大学での研究や将来に役立つ知識・スキル修得が期待される。

ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修 (SENTAN-Q)

優れた研究業績を持つ女性ならびに若手教員を対象に、世界トップレベルの研究および教育に挑戦する機会を提供。世界に通用する研究教育力を実践的に身に付けることを目的としている。



WEB サイト

九州大学未来創成科学者育成プロジェクト (QFC-SP)

次世代の科学技術者を育成するため、九州大学で年間を通して高度で実践的な教育を行い、課題解決能力をさらに伸ばしていくことを目的とする高校生対象の教育プロジェクト。



WEB サイト

check! P17に中村教授と修士生の対談を掲載!





九州大学総合研究博物館には、故・松本達郎名誉教授が半生をかけて収集した白亜紀アンモナイト化石約八千点が保管されており、当館はアンモナイトの国際的研究拠点のひとつとなっています。他方、英国・ドイツ・フランスなど西欧諸国では特にジュラ紀アンモナイトの研究が古くから進



同一種内の二型現象を示す北海道産の白亜紀アンモナイト、ヨコヤマオセラス

箱崎だより
「九州大学オール・アンモナイトプロジェクト」
九州大学総合研究博物館 副館長
前田 晴良

九州大学総合研究博物館には、故・松本達郎名誉教授が半生をかけて収集した白亜紀アンモナイト化石約八千点が保管されており、当館はアンモナイトの国際的研究拠点のひとつとなっています。他方、英国・ドイツ・フランスなど西欧諸国では特にジュラ紀アンモナイトの研究が古くから進

重要な実物標本を体系的には収集・整備していません。そのため、それらの実物化石を直接手に取って観察する機会は極めて限られていました。そこで、当館は二〇一八年に「九州大学オール・アンモナイトプロジェクト(QUAP)」を立ち上げました。まずクラウドファンディングを通して広

く一般市民に標本収集への資金協力を呼びかけた結果、全国から約二百四十三万円のご寄附を頂きました。さらにその後、寄贈された標本も併せ、現在、重要種の化石約六百点が当館に集まっています。当館では、それらの標本の一部を「化石閲覧開示室(＝通称アンモ部屋)」に集約し、ハンズオン形式(ガラス越しに見るだけでなく手で触れられる状態)で展示しています。



▲化石閲覧開示室の様子

◀ジュラ紀前期を代表するアンモナイトのひとつ。ドイツ産のアリエタイテス・バックランドアイ。直径約28cm



さまざまなジュラ紀アンモナイト化石

で足をお運び下さい。

「九州大学オール・アンモナイトプロジェクト」はまだ端緒にいたばかりです。今後も、これまで手薄だったさまざまな地域・時代のアンモナイト化石を体系的に収集し整備します。ゆくゆくは、国内外の研究者や学生・大学院生のみならず、一般市民の方々も自由にアンモナイト化石に触れ、同時に関連資料を閲覧できる「究極の研究拠点」となることをゴールに定めています。

QFC-SP 特別対談

QFC-SPに参加して、やりたいことが見つかった



国際シンポジウムに参加し、同世代の研究者から刺激をもらう

— 中世古さんがQFC-SPに参加された理由をお聞かせください。

中世古 高校は文系のコースでしたので科学にはあまり縁がなかったのですが、高校の先生に勧められ、手にしたパンフレットに中村先生の研究が紹介されていたのです。食料不足の課題に筋細胞研究からアプローチすることに驚き、もっと知りたいという思いが強くなり参加を決めました。

— 実際に参加されていかがでしたか。

中世古 コロナ禍でもどかしい思いをすることもありましたが、高校生を対象にした国際シンポジウムでポスター発表をする機会を得ました。同世代のさまざまな分野の研究者に出会い、大変刺激を受けて貴重な経験になりました。

中村 中世古さんはリサーチコース最初の難関である中間発表に力を注いだのですが、残念ながら評価は納得いくものではなく、非常に落ち込んでいました。半年後の最終発表は良いものにしたと相談されたとき、私はQFC-SPに何を期待して、残り半年をどう過ごしたいか考えてみてほしいと伝えました。すると彼女は、半年間で成果が出るように実験を頑張って、九大の共創学部に進学したいと明確な希望を話してくれました。とても嬉しかったです。

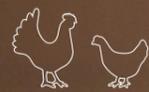
文系・理系の分野にとらわれず、気になる研究があれば参加を

— 中世古さんは、QFC-SPに参加して心境に変化がありましたか。

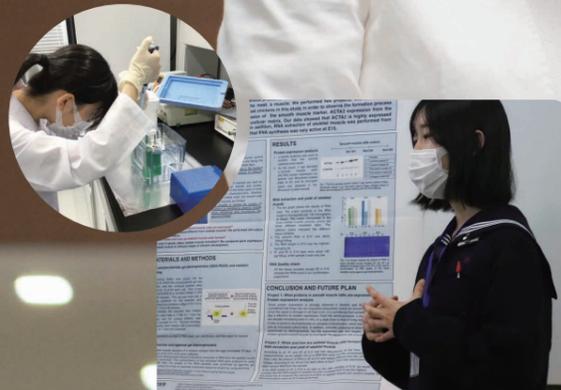
中世古 QFC-SPに参加しなければ、共創学部を目指すことはなかったと思います。研究中は培養肉こそが食肉不足を解消する特效薬のようなものと考えていたのですが、国際シンポジウムで培養肉の短所に気付かされました。培養肉の普及には技術の確立だけでなく、消費者心理や条例の整備、畜産業者との市場のバランスなど、さまざまなハードルを乗り越える必要があります。そこで、大学で多くの学問に触れて、食肉不足という世界規模の課題に取り組みたいと考えるようになり、さまざまな分野から課題にアプローチできる共創学部への進学を考えるようになりました。

中村 確かに培養肉の研究は、社会科学的なアプローチも必要ですが私の専門分野ではありません。中世古さんは異分野融合で「総合知」を生みだしてくれる将来の共同研究者候補だと思っています。

中世古 「どんな道に進んでも応援する」と言ってくれる中村先生の存在は大きいです。高校生の皆さんには、QFC-SPへの参加をぜひ、おすすめしたいです。文系・理系の分野にとらわれず、気になる研究があれば参加してください。将来やりたいことを見つけるきっかけになるかもしれません。



[左] 研究室で電気泳動の実験中
[右] 高校生国際シンポジウムでポスター発表をする中世古さん



なかせこ ゆう
中世古悠有さん
共創学部1年。2020年7月、2022年3月まで、QFC-SPのプライマリーコースからリサーチコースまで1年半のプログラムを受講。

同窓会通信

台湾同窓会

世界で活躍する九州大学の元留学生たち。そんな元留学生で構成する海外同窓会の一つに「台湾同窓会」があります。台湾に住む九大卒業生たちがどんな活動をしているのか、注目です。



今年3月の春の同窓会は石橋総長を招いて開催され、約70人が参加した。

窓会はバラバラに存在していました。学部や同級生の集まりがそれぞれありましたが、それを一つにまとめたのが、今の「台湾同窓会」です。最初は、同窓生を探し出すのが大変でした。九大からいただいた名簿に漢字表記がなくて(笑)。スタッフは私一人ですが、みんなボランティアで手伝ってくれましたよ。同窓会が設立されたのは、オフィスができてから2年後です。コロナで中断した時期もありますが、新年会や忘年会など定期的に集まっています。今年の3月には石橋総長を台湾に招いて春の同窓会を開催しました。70人ほど集まりましたよ。総長が来てくださるとやっぱり参加する人は多いですね。

蔡 私もその会に参加しました。去年の9月に九大を卒業して台湾に帰ったんですが、はじめての同窓会でした。業界は違いますが、同じ大学の先輩に会えてとても勉強になりました。参加したきっかけは、父からのアドバイスです。台湾の大学の教授は九大を卒業した方が多いと聞いて、同窓会に参加したら、そういう先輩たちと知り合う機会があるかなと思って。

蔡 蔡さんのような若い方も同窓会に参加されるんですね！
蔡 実は、若い人は少ないんです(笑)。その原因は、九大を卒業しても台湾に帰らず日本で就職する人が多いからかなと思います。



2012年7月に台湾同窓会が正式に設立。有川節夫総長(当時)も出席し、初代会長には元国立台湾海洋大学学長の鄭森雄氏が就任した。

ます。台湾からの留学生は私の周りには15人ほどいましたが、そのうち帰国したのは5人くらいです。
林 この数年間で状況が変わりましたね。昔は博士号を取って、台湾に帰って教授になったりしていましたけど、最近の学生たちはこちらで就職しなくなっています。台湾同窓会のメンバーは50〜70代の人が多いので、もっと若い人を増やしたいですね。

台湾から九大へ、九大から台湾へ。ここは、人と知識が交わる中心点。

台湾から九州大学への留学生誘致からはじまった活動

林 林先生は台湾同窓会幹事長と九州大学台北オフィス所長を兼務されているそうですが、設立当時のお話を聞かせてください。

林 台北オフィスができたのは2010年です。任務の一つに同窓会の設立もありましたが、一番は台湾の名門高校に九州大学をプロモーションし、留学生をリクルートすることです。当時、G30(グローバル30)という文部科学省のプログラムがありました。10年かけて日本への留学生を30万人まで増やすというもので、九大のその取り組みを支援するのが最初の目的でした。英語で授業をするプログラムだったので、日本語を知らなくても日本へ留学できるというメリットがありましたね。今は毎年、台湾で日本留学フェアが開催されていて、そこでプロモーションをしています。10年前は日本の有名私立大学が人気でしたが、今は国立大学も人気ですよ。大学院に行きたいという人も相談に来たりします。私が指導教員を紹介して、九大に留学したケースもありますね。

林 九大から台湾に留学するケースもあると思いますが、そういった学生のサポートも？
林 はい、しています。九大にはCLP、Cという短期の語学留学事業があって、春休み期間を利用して3週間ほど台湾の大学に派遣生が来ます。九大から依頼が来ると同窓生に連絡して、講義をしてもらっています。経済学部や法学部、いろんな卒業生が台湾に関する専門的な話をしていますね。派遣生の皆さんと食事をしたりも

課題も見えてきましたが、大学生やこれから九大に留学する高校生に伝えたいことはありますか？

蔡 九大にいる留学生は、台湾同窓会を知らない人が多いと思います。私は留学生会を通じてインターネットで同窓会の先輩と交流する機会があつて知りました。SNSなどに同窓会の情報をもっと載せたら、若い人も参加するきっかけができるんじゃないかなと思います。台湾にはいろんな経験を持つ同窓生がいるので、たくさん情報が得られます。興味がある方はぜひ参加してみてください。

林 現役の学生と台湾同窓会が交流する場はいいですね。九大に留学して帰国した同窓生は、みんなそれぞれ台湾で活躍しています。違う世代とも交流できる機会を増やしていきたいですね。



今年春の同窓会では蔡さんをはじめ若い世代の参加者も。



ロバート・ファン氏(写真中央)を囲んでの歓迎会。

しますよ。実業家として世界的に活躍しているロバート・ファンさんが参加した歓迎会は、とても印象に残っています。学生たちが真剣にファンさんの話を聞いていて、みんな「すごくよかったです」と語っていました。あとは、台湾に住む九大卒の日本人駐在員の方たちとも定期的に集まっていますね。会話の中心はやっぱり台湾での生活や仕事のことですが、箱崎キャンパスのことなど九大を思い出して盛り上がりもしますよ。

時代とともに変化する台湾同窓会の今とこれから

林 台湾に住んでいらっしゃる同窓生同士の交流はどんな感じですか？
林 台北オフィスができた当時、台湾の同

台湾同窓会幹事長/
台湾師範大学教授
りん しんこう
林 震煌 さん
工学部 1994年卒業

璧碩生技醫藥股份
有限公司
さい うそーていん
蔡 璋庭 さん
生物資源環境科学府
2022年卒業



台湾同窓会

Facebook
ページはこちら



お問い合わせ先

林 震煌(りん しんこう)さん宛

E-mail: chemntnu@gmail.com

LINE: ID「0912488681」で検索してくださいね!

九州大学基金
山川賞
受賞者インタビュー

受賞によって県外での
フィールドワークも実現。
大きな感謝と責任を胸に。

—山川賞に応募しようと思ったきっかけは？

得津 山川賞のことを教えてくれた先輩が、いつもキラキラしていて憧れの存在でした。私も応募することで先輩のように輝き、成長できたらいいなと思ったのがきっかけです。また、受賞者に給付される奨学金で、今後の研究をさらに深めていきたいと考えました。

—受賞したときはどんな気持ちでしたか？

得津 自分が伝えなかったことが、審査員の皆さんに伝わったんだなという確かな手応えを感じました。それと同時に、改めて私の研究テーマである「地域通貨を通してのまちづくり」に本気で取り組まなければならぬと身が引き締まったのを覚えています。受賞はゴールではなくスタート。奨学金は1円も無駄にできないので、重い責任も感じました。

—奨学金はどのように活用を？

得津 県外でのフィールドワークのために使わせてもらっています。コロナ禍の最中だったこともありなかなか県外に行くことは困難な状況。それもあり腰が重いとこもありませんでしたが、山川賞を受賞したことで「本気で動こう！」と突破口が開けた気持ちです。今年は海外にも足を運んで、さまざまな地域通貨の事例やエコビレッジなどを見てみたいです。

—将来の目標やビジョンを教えてください。

得津 私の出身地は調味料の貸し借りも行われるようなコミュニティで、そんな密接な関係性は私にとっても魅力的なものでした。そんな実体験から、お互いに助け合える「孤立しないコミュニティづくり」に興味を持っています。受賞したテーマである「地域通貨を通して、そんな理想のまちづくりに関わっていったら嬉しいです。ま

た、研究を進めるにつれ、システムや仕組みを導入することで人の行動が変わるということに面白さや魅力を感じるようになりました。卒業後はそのような、人の行動を促せるような仕組みを作る人間になりたいです。

—山川賞への応募を後輩にも勧めたいですか？

得津 もちろんです。共創学部は研究の幅が広いので、自分の軸をしっかりと持っていないとただ時間が過ぎていくだけになることも。山川賞への挑戦は、自分のテーマを再確認できる良い機会だと思います。

—受験生や後輩にメッセージを。

得津 九州大学には、山川賞をはじめ自分を成長させてくれる環境が整っていると思います。修学支援も多数あるので、安心して勉強に取り組みますよ。ぜひ一緒に頑張らしましょう！

山川賞2021年度受賞
共創学部4年
とく つ けい か
得津 京佳



① マルシェで行った地域通貨のワークショップ
② 地域通貨を通して知り合った方と森林管理のボランティアに参加

修学支援事業基金

九州大学基金では、経済的理由により修学が困難な学生を支援することを目的に基金を設置し、奨学金を給付しています。

支援内容	1人当たり月額3万円を毎年30名程度に対し、返済不要の給付型奨学金として給付しています。
寄附目標額	1,000万円/年間
寄附金控除	本基金への寄附は、通常の「所得控除」に加えて、小口寄附の減税額が大きくなる「税額控除」も選択することができます。

「ありがとうを伝えたい！」学生のVoice

実際に支援を受けた学生たちの感謝の声を一部ご紹介します。



歯学部

私は歯学部で昨年度は国家試験に臨む重要な一年でした。臨床実習などで忙しく、勉学との兼ね合いからアルバイトなどをすることができず生活にゆとりがありませんでした。また、国家試験に臨むということで、どうしても参考書や夏期講習、模試など臨時的な出費が多くなりました。

奨学金がなければ、これら全てを受けることは到底できなかったと思います。私がこの一年、勉強ができたことに本当に感謝しています。

金銭的にだけでなく精神的な負担もかなり軽減されました。世間では物価の高騰が叫ばれており、収入のな

い私としては厳しい一年となりました。この奨学金がなければもっと大変だったと思います。そんな中、卒業試験や国家試験の勉強に集中して臨む環境を整えることができたことに本当に感謝しています。

今の私がかここまで来ることができ学生の身分たる勉学に励む環境を手に入れられたのも、この奨学金のおかげだと思っています。このことでより一層、多くの方々に支えられていることを認識することができました。私も将来は、支援する側になって私が受けた恩恵を次の世代へと繋げていける人になれるよう日々邁進していきたいと思っています。



法学部

親の負担を減らし自分の力で生活するためにアルバイトをしていましたが、学生の身分である学業をおろそかにできない状況の中で、アルバイトに割ける時間も限られていました。奨学金のおかげであまり無理をせず、学習に集中することができました。大学の授業には、体調不良で欠席する以外はすべて出席し、集中して講義に臨むことができました。また、勉強にしっかりと時間を割くことができたので、レポートや試験も納得のいく結果になりました。これからは学習に励んでいきたいと考えています。

経済的な理由から、自分は大学に通うことができるのか、また通い続けることができるのか不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、奨学金のおかげで不安は減り、安心して大学に通うことができました。さらに好きな部活を続けることができています。合宿や県外での大会など、何かと出費がかさんでしまいます。もし奨学金の支援がなかったら、親に遠慮してしまって合宿に行くことや大会に行くこともあきらめていたかもしれません。今、熱量をもって部活に取り組むことができているのも、奨学金のおかげです。



医学部

私は臨床検査技師になることを目指し、日々検査学についての勉学や実習に励んでおりました。しかし、実習や大学院の入学試験、卒業研究、国家試験と4年生のスケジュールは忙しく、なかなかアルバイトをする時間がありませんでした。

今回、奨学生に採用していただき、生活費や勉強道具の費用、資格習得のための費用などに充てることで生活に余裕ができ、十分に勉強をする時間を得ることができました。こうしてつつがなく希望の学業を修め、晴れて

卒業を迎える事ができたのも、ご支援のおかげと私は勿論、家族一同感謝の気持ちでおります。

また、将来自分がやりたいことをしっかりと考えることができ、自分について改めて見つめ直す良い機会を得ることができました。無事、大学院入学試験および国家試験に合格することができ、将来の夢にまた一歩近づけました。これからさらに理想の自分に近づくために、今まで以上に勉学に励み、新たな発見ができるよう大学院で検査学の研究を進めていきたいです。

九州大学基金 INFORMATION

九州大学基金について

九州大学基金では、多くの寄附者の皆さまのご支援により、今回ご紹介している「山川賞」や「修学支援事業基金」をはじめとする支援助成事業を年間1億円規模で実施しているほか、20以上のプロジェクトを実施しています。詳しくは九州大学基金のホームページをご覧ください。

<https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>



山川賞について

山川健次郎初代総長の名を冠した賞であり、九州大学教育憲章が指向する人間性、社会性、国際性、専門性に対して優れた志を持ち、学業成績が優秀な学部学生を選考し、次世代を担う若者を育てることを目的としています。奨学金として、九州大学基金から年間100万円を給付します。

